

市民大学リレー講座

死を見つめ 今を生きる

～豊かな人生を送るヒント～

第1回

10/3 (土)



日本人の靈魂観

静岡県立大学

国際関係学部国際言語文化学科日本文化コース

吉田 真樹 准教授

私たちにとって靈魂とはいったい何なのでしょう。古代以来の
説話や物語を振り返ってみれば、そこには多くの靈魂イメージが
残されています。古代以来、理論型思想家たちは靈魂の問題
を消去しようとしたが、それをすり抜ける形で靈魂の思想は
生き残り、現在の私たちにまで流れ込んでいるといえます。本講
義では代表的な靈魂イメージのいくつかを取り上げて、靈魂と
は何かという問題について考えてみたいと思います。

第2回

10/10 (土)



世界の死生観と死者儀礼

～タイ文化を中心に～

東海大学

海洋学部海洋文明学科

川野 美砂子 教授

この講義では、文化人類学の領域で中心的なテーマの一つと
なってきました死生観と死者儀礼の研究を、タイでの調査を中
心にご紹介します。世界の多様な文化と世界観の中で紡がれ
てきた生と死の物語と、そこで営まれてきた死者儀礼を理解し
ようとする試みは、いかに生きるかという問いに答えることを
目的とするものではありませんが、私たちが生きているこの意
味の世界を広げる助けになることでしょう。

第3回

10/17 (土)



死後の世界と 生まれる前の世界

静岡英和学院大学

短期大学部現代コミュニケーション学科

高橋 清隆 教授

人生は一度きりとよく言われますが、ほんとうにそうでしょ
うか。人生が一度きりなら、好き勝手な行動をとる人がもっと多
くなると予想されますが、本能的に、来世以降の自分に負担を残
さないように自制している人が多いのではないのでしょうか。死
後の世界、生まれる前の世界を、様々な証言から探り、そこから
人生の意義を考えていきたいと思います。なお、特定の宗教の
立場はとっておりません。

第4回

10/24 (土)



在宅での看取り

～遺族に対するケアの必要性～

常葉大学

健康科学部看護学科

渡部 洋子 教授

自宅で見守るためには家族への関わりが重要であり、看取る
までの家族のケアと看取った後の家族のケア、どちらも必要
であり残される家族の悲しみをどのように支えるのかが重要
な課題でもあります。

訪問看護の経験と自身の研究活動から、事例を通して看取り
における家族支援の現状と課題について考えていきたいと思
います。

第5回

10/31 (土)



対話を通して 生と死を探究する

静岡大学

農学研究科

竹之内 裕文 教授

高齢期や終末期には様々な場面で、多くの選択を余儀なくさ
れます。それらの選択の土台となるのが一人ひとりの死生観で
す。また生きること、死にゆくことは、私たちすべてにとっての共
通課題です。そこで講座の最終回では、すこし趣を変えて、カ
フェスタイルで語り、ともに考えてみることにしましょう。哲学カ
フェと死生学カフェでの経験に基づいて、ファシリテーターとし
て、参加者の対話と探究をサポートします。